



第9回

金融のしくみとはたらき

社会的意義を考える



渋沢 英子



津田 桜子



北里 三郎

渋沢 お金の疑問にパキッと回答、「お金なんでも相談室」。ナビゲーターの渋沢英子です。

北里 北里三郎です。

津田 津田桜子です。

津田 / 北里 よろしくお願ひします！

渋沢 今日の質問いってみましょう！

北里 視聴者からメールをいただきました。「株式投資って単なるお金儲けなんですよ。世の中の役に立っているんですか？」だそうです。

渋沢 確かに、そのような考えを持っている人もいかもしれませんね。
今日は株式投資を含む金融のしくみとはたらき、そして社会的意義について考えていきましょう。

北里 随分大きな話から始まるなあ。そもそも金融って何ですか？

渋沢 それでは、まず金融について説明しますね。**金融**とは、簡単にいうと、お金が余っているところから足りないところへ、条件付きでお金を渡すことをいいます。
世の中には経済活動を行う3つの主体があるのは知っていますよね？

津田 授業で習いました。経済の3主体「企業」、「家計」、「政府」ですよね。

渋沢 その通り。では、金融の目線からこの3つの主体の結びつきを見ていきましょう。
まず、家計と企業の結びつきです。例えばモノをつくっている企業の場合は、さまざまな製品をつくるために、工場を建て、人を雇い、機械を買い、原材料や部品を仕入れています。
それに必要な資金を企業自身で用意することができない場合、お金を調達する必要があります。そこで、家計からお金を調達します。

北里 なるほど。これが金融なんですね。

渋沢 金融には大きく分けると間接金融と直接金融があります。**間接金融**は、家計からお金を預かった銀行などから借りる方法です。
一方、**直接金融**は、企業が株式や債券を発行して、家計から直接お金を集める方法です。

北里 じゃあ、家計と政府の結びつきはどうなんですか？

渋沢

政府も道路や橋をつくったり、さまざまな公共事業などを行うために、多くのお金が必要です。本来なら家計や企業からの税金でその費用は賄うべきですが、足りない場合、国債などを発行してお金を調達します。

津田

つまり、私たちの立場からすると、株式や債券に投資をすることが、資金を必要としている企業や政府にお金を提供することになるということですね。

渋沢

その通り。間接金融の場合は、銀行などがどこにお金を渡すかを決めますが、直接金融の場合は、家計がどこにお金を渡すかを選べるんです。これが金融のしくみとはたらきです。

最後に**金融の社会的意義**について説明します。

企業は、投資によって集めたお金で、新しい商品、サービスを生み出したり、多くの人を雇って企業活動を行います。政府も国民の生活に必要な公共事業などを行います。

こうして私たちの生活は豊かになります。

さらに家計は投資をすることで**自らの資産形成**ができるわけです。

これらの活動によって**社会全体がより豊か**になっていきます。

津田

株式や債券に投資をすることは、自分のためだけじゃなくて、世の中の役にも立っているんですね！

渋沢

今日は、金融のしくみやはたらき、社会的意義についてお話ししました。みなさんわかりましたか？

津田 / 北里

よくわかりました！

北里

桜子ちゃん、僕たちはもうちょっと大人にならないと、株式や債券に投資する直接金融はできないんだよね。残念だな～。

津田

三郎君は間接金融もしてないでしょ。私は少しずつお小遣いを銀行に預けてるよ。

北里

さ、桜子ちゃん！ 僕、憧れちゃうな！

今日の授業のおさらいだよ。

- ・ **間接金融**とは、家計からお金を預かった**銀行**などが、資金を必要としている企業にお金を貸し出すしくみ
 - ・ **直接金融**とは、家計が**株式や債券**への投資を通じて、資金を必要としている企業に直接お金を提供するしくみ
 - ・ 金融は、家計の**資産形成だけでなく**、企業活動や政府の公共事業などにもお金を提供することで、**社会全体をより豊かに**することができる
- わかったかな。